

平成28年度進行管理・評価シート
小田原市歴史的風致維持向上計画(平成23年6月8日認定)
(最終変更平成29年3月31日)

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 計画実施に向けた推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 景観計画の活用	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 清閑亭保存整備活用事業	3
2 松永記念館整備活用事業	4
3 歴史的風致形成建造物等整備事業	5
4 史跡小田原城跡本丸・二の丸整備事業	6
5 八幡山古郭・総構整備事業	7
6 案内板等整備事業	8
7 小田原文学館整備活用事業	9
8 国道255号電線地中化事業	10
9 銀座・竹の花周辺地区における街なみ環境の向上	11
10 祭礼等保存継承事業	12
11 歴史的風致形成建造物等活用事業	13
12 地区まちづくりのための調査及び住民とのワークショップ	14
13 街かど博物館活用事業	15
14 なりわい交流館活用事業	16
15 伝統的工芸品産業産地組合助成事業	17
16 小田原散策マップ等作成事業	18
17 レンタサイクル事業	19
18 民俗芸能保存支援事業	20
19 無形民俗文化財記録作成事業	21
20 文化財の総合的把握・育成支援事業	22
21 伝統行事・伝統文化啓発事業	23
22 職人育成研修等推進事業	24
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の指定	25
2 文化財の修理(整備を含む)及び防災	26
3 文化財の保存・活用の普及及び啓発	27
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 小田原文学館 観覧者20万人達成 ほか	28
⑥その他(様式1-6)	
1 小田原城天守閣耐震改修工事	29
2 観光まちあるき事業(まち歩きアプリの開発等)	30
3 きづかいのまちの取組み(小田原産木材の活用など)	31
4 歴史的風致に関する意識啓発	32
5 歴史まちづくりの効果	33
□法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	34

評価軸①-1
組織体制

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	

計画実施に向けた推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--------------	--	---

計画に記載している内容
 計画変更や事業実施に係る懸案事項については、「小田原市歴史まちづくり協議会」において協議し、推進にあたる。
 行政内部の進捗管理を行うため「小田原市歴史的風致維持向上計画推進会議」を組織し、都市整備・景観・文化財・観光等の分野が横断的かつ効果的な取り組みが行える仕組みとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・小田原市歴史まちづくり協議会を年2回開催した。
 計画の進捗状況や歴史的風致形成建造物の指定について報告をし、計画の推進に向けた協議を行った。
- ・小田原市歴史的風致維持向上計画推進会議を年2回開催した。
 各推進会議終了後には、主な支援事業である社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)に係る各事業所管による予算等調整会議を実施した。
- ・各事業について、引き続き庁内横断的な組織である推進会議を通じて情報共有や連携を図った。各事業や関連事業などの一覧を活用し、特に、重点的な取組や新たな取組(調査研究や新たな支援事業等)、国担当者会議等からの情報について、随時協議を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○小田原市歴史まちづくり協議会



第1回 協議会の様子

第1回(平成28年5月23日開催)
 ・「小田原市歴史的風致維持向上計画」の実施状況について
 ・「小田原市歴史的風致維持向上計画」の実施予定について

第2回(平成29年2月7日開催)
 ・「小田原市歴史的風致維持向上計画」の進捗について
 (平成28年度進行管理・評価シートほか)
 ・歴史的風致形成建造物の指定について
 ・「小田原市歴史的風致維持向上計画」の軽微な変更について

○小田原市歴史的風致維持向上計画推進会議



第1回 推進会議の様子

第1回(平成28年4月27日開催)
 ・小田原市歴史的風致維持向上計画及び推進会議について
 ・小田原市歴史的風致維持向上計画の推進に係る事業の進捗及び予定について
 ・小田原市歴史的風致維持向上計画と関連する取組みについて
 「集約促進景観・歴史的風致形成推進事業」
 「にぎわいと回遊・魅力ある街なみ調査研究事業」
 「指定文化財等保存管理事業-宿場町おだわら顕彰事業-」

第2回(平成28年11月17日開催)
 ・歴史的風致維持向上計画の事業の進捗状況について
 ・歴史的風致維持向上計画の変更について
 ・歴史的風致維持向上計画に係る事項について(各スタッフより)
 「歴史的建造物の保存・活用について」
 「かまぼこ通りについて」
 「計画終了後の方向性について(最終評価・二期計画等)」ほか

※各推進会議終了後に、社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)に係る各事業所管による予算等調整会議を実施
 ※また、推進会議を中心に、本計画における啓発事業(研修や出前講座、視察対応など)等を実施 (P.32参照)



事業所管による調整会議の様子

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成28年度
景観計画の活用		現在の状況 □実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容
重点区域はすべて都市計画区域内であり、今後とも都市計画制度等を積極的に活用し、重点区域として相応しい良好な市街地環境の形成を進める。
また、景観計画に示された景観形成方針と類型別・構造別の方針に配慮すべき区域内に含まれるほか、3つの拠点型重点区域を含むため、これら景観施策と積極的な連携を図ることとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・平成18年に策定した「小田原市景観計画」に基づき、良好な景観形成のための規制誘導を行った。
- ・小田原城天守閣のリニューアルに際し、外観の修繕に対し、景観形成のシンボルとなるよう協議調整のうえ実施した。
- ・重点区域内の民間建築物に対し、著しく良好な景観に寄与する建築物の新築等の対象経費の一部を助成する「景観形成修景費補助金制度」の活用による修景を実施した。
- ・平成21年に施行した「小田原市屋外広告物条例」に基づき、屋外広告物に対し規制誘導を行った。(色彩制限有)

【定量的数値】

拠点型重点区域別の景観届出件数

H28 小田原城周辺地区 7件、小田原駅周辺地区 11件、国道1号・本町南町地区 8件 計26件

※うち景観形成修景費補助金の活用 1件

拠点型重点区域別の許可済み屋外広告物数

H28 小田原城周辺地区 4件、小田原駅周辺地区 52件、国道1号・本町南町地区 13件 計69件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○重点区域内における良好な景観形成の事例 (小田原城天守閣及び周辺)



リニューアル後の小田原城天守閣



城址公園本丸広場内のベンチ(修景前)



小田原木材のベンチ(修景後)

- ・小田原城天守閣のリニューアルに際し、耐震改修及び内部展示の更新のほか、外観も修繕をし、景観に配慮
- ・外壁塗装について、復元した銅門を参考に漆喰調塗料とし、屋根上部にあった避雷針について、避雷導体設備として外から見えないものへ変更、空調機の室外機も地盤面へ設置のうえ、板塀の設置による遮蔽を実施
- ・あわせて天守閣周辺の本丸広場に設置していたベンチやごみ箱など、小田原木材を使用したものへ変更、歴史的景観へ配慮



小田原木材のごみ箱(修景後)

○重点区域内における良好な景観形成の事例 (景観形成修景費補助金制度によるもの)



小田原駅前店舗(修景前)



小田原駅前店舗(修景後)

- ・小田原駅周辺地区
- ・多くが行き交う駅前のアイストップとなる場所(信号機付近)
- ・商業ビルの低層部(1階店舗)を和風意匠デザインへ修景
- ・ライトアップ効果で夜間景観にも配慮

※本計画の重点区域内に設定している景観計画上の拠点型重点区域(3区域)において、景観届出の対象となるものについて、対象経費の一部を補助する助成制度などを活用しながら、本市景観計画に適合するよう規制誘導を行っている。
 ※本計画の重点区域内に設定している景観計画上の拠点型重点区域(3区域)において、屋外広告物条例により、広告物の地の色彩に一定の基準を設けており、新規及び継続の許可手続きの際、確認を行っている。
 ※景観の重点区域以外では、景観の届出は、一定規模以上のものに限っているが、届出対象でないものについても、窓口等において、歴史的景観に寄与する意匠や色彩への誘導を行い、自主的な景観形成の取り組みを促している。

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
清閑亭保存整備活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～平成32年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業、街なみ環境整備事業の効果促進事業)		
計画に記載している内容	登録有形文化財で、歴史的建造物である清閑亭は、建物の老朽化が著しいため、補修・修理を実施し、観光客・市民の憩いの場、旧別邸等を巡る回遊ネットワークの拠点、別邸文化を発信する施設として整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<保存整備> ・周辺散策路整備に向けた事業調整・用地交渉等を行った。 <活用> ・民間団体の自由な発想を活かすため、NPO法人へ活用委託し、施設に関連したイベントやまち歩きを通年で実施した。 ・回遊性の拡大に向け、近隣の歴史的建造物(松永記念館、小田原文学館等)との回遊性を高めるポスター、それぞれの施設を紹介する葉書の作成やスタンプラリー、情報発信及びイベントや、民有物件の活用のための実験的催事を実施し、利用者の増加を図っている。 【定量的評価】 平成23年度入館者 15,969人 事業数 52事業 参加者数 12,030人 平成24年度入館者 20,777人 事業数 113事業 参加者数 11,062人 平成25年度入館者 22,324人 事業数 102事業 参加者数 13,003人 平成26年度入館者 24,190人 事業数 109事業 参加者数 12,146人 平成27年度入館者 29,007人 事業数 106事業 参加者数 16,785人 平成28年度入館者 33,201人 事業数 139事業 参加者数 20,719人 ・神奈川県と民間の協働事業である「湘南邸園文化祭」へ引き続き参加をし、市外への積極的な情報発信をした。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<活用> ○清閑亭でのイベント(講演会、まち歩き、展示会、建物ガイドなど)			
 <p>蔵を活用した閑話会(講演会)</p>	 <p>まち歩きツアー</p>	 <p>アール・ド・ヴィーヴル展</p>	<p>障がいのある子どもから大人までを対象としたアート活動団体による展示会</p>
 <p>木のなりわい展</p>	 <p>建物ガイド(随時)</p>		
○清閑亭を核とした周辺の民有物件の活用のための実験的催事			
「西海子浪漫」と題し、旧松本剛吉別邸(岡田家住宅)にて、建物見学会や講演会、西海子小路周辺にて、高校生ガイドによるまち歩きや各テーマに応じたまち歩きをあわせて開催			
 <p>建物見学会</p>	 <p>文化講演会(うしろうにみる小田原)</p>	○神奈川県との協働事業への参加  <p>湘南邸園文化祭パンフレット (県内9市6町掲載)</p>	
 <p>高校生ガイドによるまち歩きツアー</p>			

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
松永記念館整備活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成23年度～平成32年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)
計画に記載している内容	昭和前期に建てられた歴史的建造物である松永記念館の敷地内に所在する歴史的建造物の修理及び庭園の修景整備等を一体的に実施し、観光客・市民の憩いの場、回遊ルートの拠点とする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

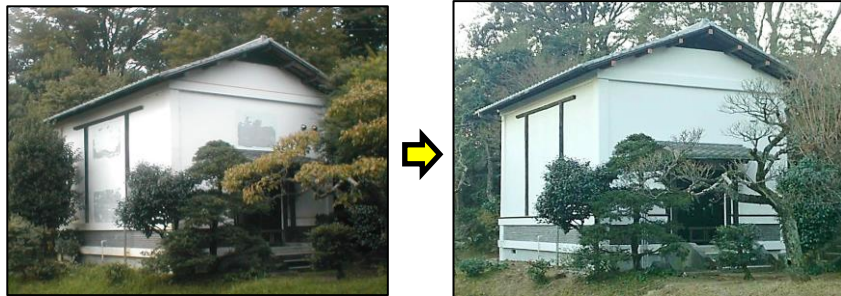
- 平成28年度は松永記念館の収蔵庫の外壁等改修工事を実施した。劣化した外壁の漆喰や木部の補修、ロスナイの撤去等を行った。
- 無住庵の移築に向けて、所有者より寄贈を受けるとともに、歴史的風致形成建造物(指定番号1 松永記念館)へ追加指定した。(平成29年3月15日指定、p.5参照)
- 【定量的評価】
来館者数 平成23年度 21,901人、平成24年度 22,388人、平成25年度 22,905人、平成26年度 22,086人、平成27年度 25,918人、平成28年度 19,246人
- 活用事業として、庭園呈茶や紅葉が見ごろな時期に板橋地域周辺と一体となったイベント「夢見遊山いたばし見聞楽」を実施した。
- 松永記念館近くの空家に開店した木工店舗と連携をし、寄木細工体験イベントなども実施した。
- 【定量的評価】
平成28年度 夢見遊山いたばし見聞楽(平成28年11月3日開催)参加人数 1,590人 (松永記念館茶会 374席)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

<整備>

○収蔵庫の外壁改修



改修前

改修後

劣化した外壁の漆喰や木部を補修

○収蔵庫のロスナイ撤去



撤去前

撤去後

○追加指定した無住庵の移築予定地



老樺荘向かい

○夢見遊山いたばし見聞楽(平成28年11月3日)

<活用>

○庭園呈茶

(平成28年5月21日)



新緑の庭園を眺めながら、足柄茶の新茶を味わう

開催チラシ

(広報おだわら10月号 表紙へも掲載)

評価軸③-3 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
歴史的風致形成建造物等整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～平成32年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業の基幹事業)		
計画に記載している内容	重点区域内にある歴史的建造物を対象に、歴史的風致形成建造物に指定し、建造物の修理・修景に対する助成を行うとともに、定期的に一般に公開する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・計画策定時に位置付けた14件の民間所有の歴史的風致形成建造物指定候補について、各物件の整備や活用等に関する所有者の意向調査・確認等を実施した。 ・候補である「内野家住宅」について、所有者同意のうえ、歴史的風致形成建造物へ指定した。(平成29年3月15日) ・民間所有であった「無住庵」について、所有者からの寄贈後、歴史的風致形成建造物の松永記念館へ追加指定した。(平成29年3月15日) ・あわせて、平成27年度に指定した2件(岡田家住宅、皆春荘)について一般公開に向けた協議を行い、岡田家住宅の一部(茶室及び庭園)について一般公開を実施した。(p.13参照)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○平成28年度に、歴史的風致形成建造物へ指定した民間所有物件 2件			
			
内野家住宅		無住庵	
<ul style="list-style-type: none"> ・候補一覧No.16 内野家住宅 ・指定番号7 歴史的風致形成建造物に指定 ・板橋周辺にみる歴史的風致に該当 ・明治36年(1903年)竣工の醤油醸造所 ・敷地南側は、旧東海道に面し、大きな観音扉のある店蔵と店舗兼住宅として使用していた石造風アーチが印象的な主屋、主屋の東側に穀蔵、奥に大樽などが残る工場が配置 		<ul style="list-style-type: none"> ・候補一覧No.1 松永記念館の一部 ・指定番号1 松永記念館の一部として歴史的風致形成建造物に追加指定 ・板橋周辺にみる歴史的風致に該当 ・かつて松永記念館(老櫓荘)内に古材を用いて建造された茶室を兼ねた「田舎家」 ・昭和50年前後に解体移築されたもの ・市へ寄贈後、松永記念館敷地内へ移築する予定(p.4参照) 	
○平成27年度に、歴史的風致形成建造物へ指定した岡田家住宅の一般公開			
			
岡田家住宅(旧松本剛吉別邸、茶室:雨香亭の内部)		庭園	

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
史跡小田原城跡本丸・二の丸整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～平成32年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金・市単独事業

計画に記載している内容 「史跡小田原城跡本丸・二の丸整備基本構想」に基づき小田原城本丸・二の丸の史跡整備や回遊ルート整備を進め、市街地の歴史的環境の改善や本市固有の歴史的な景観の保全をする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・平成22年度に整備実施設計を策定し整備を開始した御用米曲輪について、平成25年度より継続して実施している修景整備工事においては、北東・北西土塁の形状復元や地被植栽、駒寄の設置等を行った。
- ・平成元年の復元から相当の年月が経過し、経年劣化等が著しい住吉橋につき、修復工事に着手した。
- ・城内地区の公有地の一部において、2箇所の修景整備を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○修景整備工事



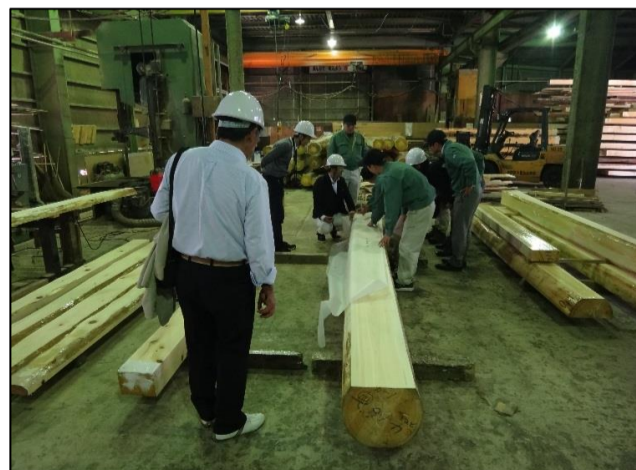
北西・北東土塁の形状復元前



北西土塁の形状復元後



住吉橋保存修理工事(着手前)



住吉橋保存修理工事(製材状況)

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
八幡山古郭・総構整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～平成32年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金・市単独事業

計画に記載している内容 小田原のまち割りを規定している戦国時代の文化遺産である史跡小田原城跡の八幡山古郭及び総構の整備や、史跡小田原城跡を説明するためのガイダンス施設の整備を順次行っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・平成22年度に策定した「史跡小田原城跡八幡山古郭・総構保存管理計画」に基づき、全体の整備計画を策定していく必要があるが、その策定には至っていない。
- ・平成27年度に公有地化し説明看板を設置した「小峯御鐘ノ台大堀切西堀」について、平成28年7月5日より一般公開し散策できるようにした。(東堀と中堀は既に公開している。)
- ・あわせて、土塁や堀の形状が分かるよう草刈などの公有地内の維持管理を引き続き行った。
- ・総構についてメディアにて取り上げられることによるニーズの高まりに応じ、観光部局と連携のうえ、「小田原城総構マップ」を作成し、実際に見て歩く機会の拡大を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

日常管理を行いながら、公開活用に努めているが、今後、全体の整備計画の策定を行う必要がある。

状況を示す写真や資料等



小峯御鐘ノ台大堀切西堀の説明看板



小峯御鐘ノ台大堀切西堀

7月5日(火)から公開
 小峯御鐘ノ台
 大堀切西堀
 文化財課 33-1718
 33-20766

戦国時代の小田原城跡の遺構が残る「小峯御鐘ノ台」には、「大堀切」と呼ばれる巨大な空堀が3本あります。

このうち、東堀と中堀は公開し、散策できるようになっています。7月5日(火)から、西堀についても散策を楽しめるようになります。

豊臣秀吉の「小田原攻め」に對抗するために造られ、巨大な堀と土塁が良好に残る「小峯御鐘ノ台大堀切西堀」。戦国時代に終わりを告げた「小田原合戦」を肌で感じてみてください。

雄大な空堀が残る大堀切西堀

小峯御鐘ノ台大堀切西堀の公開(広報小田原7月号に掲載)



小田原城総構マップ

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
案内板等整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～平成29年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 歴史的建造物等について、案内板や情報板の新設、更新を実施する。市民や来訪者が建造物等への理解を深めることができるとともに、歴史的風致の拠点を巡る回遊性の高いネットワークが形成される。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成28年度 邸園めぐり案内板の設置 1基
道標の設置 4基

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 設置場所(民地)によっては、設置の承諾を受けるのが難しい場所がある。

状況を示す写真や資料等

○邸園めぐり案内板



※整備完了した清閑亭へ設置

○道標



太閤一夜城と長興山史跡巡りコース
地球博物館前交差点付近



曾我の里散策コース
澄禅窟入口付近



国府津・曾我の里散策コース
城前寺から大光院の道中のY字路付近



早川・片浦ウォーキングトレイル
寺山神社付近

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
小田原文学館整備活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～平成31年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業、街なみ環境整備事業の効果促進事業)

計画に記載している内容 登録有形文化財である小田原文学館(本館・別館)は、屋根の改修を実施するとともに、周辺の歩行者空間の整備等と併せて、施設内に新たな便益施設を整備し、まちなかを回遊する際の休憩施設としての機能を付加する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・平成25・26年度に実施した建物調査を基に小田原文学館本館(管理棟)及び別館(白秋童謡館)の改修計画を作成し、平成28年度は別館(白秋童謡館)の耐震補強及び劣化部分の改修工事に向けた実施設計業務を実施した。
- ・活用事業である西海子サロン事業について、平成27年9月から実行委員会メンバーを入れ替え、「小田原文学サロン」と名称変更しており、平成28年度は引き続き、同サロンにて文学のまちづくりの新たな担い手づくり事業を実施した。
- ・平成28年4月19日、小田原文学館開館(平成6年)からの累計来館者数が20万人に達し、記念セレモニーを開催した。

【定量的評価】

小田原文学館 来館者数

平成23年度:9,121人、平成24年度:9,578人、平成25年度:8,068人、平成26年度:8,501人、平成27年度:10,012人
平成28年度:8,834人

進捗状況 ※計画年次との対応

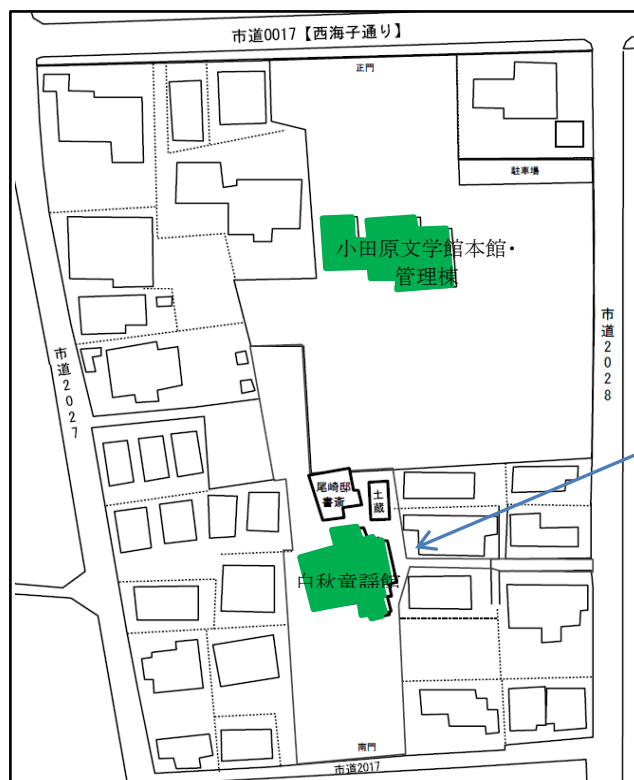
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

<整備>

○小田原文学館(別館)改修工事



耐震補強及び劣化部分の改修工事実施設計した小田原文学館別館(白秋童謡館)



小田原文学館観覧者20万人達成記念
セレモニー
(来館者と小田原市長)

<活用>



小田原文学サロン

評価軸③-8
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
国道255号電線地中化事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成22年度～平成28年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(道路事業(基幹事業))

計画に記載している内容 国道255号電線類地中化全体計画のうち、旧甲州道に位置する銀座・竹の花周辺地区において、電線類地中化を行い、歴史文化やなりわいの感じられるまちなみ景観の形成を促進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

アーケードが撤去され、道路空間に広がり得られ、見通しがよくなったため、沿道の建物の修景に対する気運が高まった。

- ・平成23～24年度 アーケード撤去工事を実施
- ・平成23～24年度 水道管・ガス管移設工事を実施
- ・平成24年度 栄町一丁目交差点～銀座通り交差点間(両側) 各戸引込管工事を実施
- ・平成24年度 銀座通り交差点～竹の花交差点付近間(東側) 電線共同溝工事を実施
- ・平成25年度 銀座通り交差点～竹の花交差点付近間(両側) 各戸引込管工事を実施
- ・平成25年度 栄町一丁目交差点～銀座通り交差点付近間(南側) 照明灯工事を実施
- 電線類地中化を竹の花交差点から北へ約250m延伸することが決定
- ・平成26年度 銀座通り交差点～竹の花交差点付近間(西側) 照明灯工事を実施
- ・平成27年度 銀座通り交差点～竹の花交差点付近間(西側) 入線工事を実施
- 銀座通り交差点～竹の花交差点付近間(東側) 照明灯工事を実施
- 竹の花交差点以北、電線類地中化実施設計
- ・平成28年度 銀座通り交差点、錦通り出口交差点 信号施設改修工事を実施中
- 栄町一丁目交差点～竹の花交差点付近間(両側) 歩道舗装工事を実施中
- 竹の花交差点～栄町三丁目交差点間(両側) アーケード撤去、歩道改修工事を実施

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

歩道のデザイン等、地元調整を充分行い、景観上望ましいものに誘導していく必要がある。北伸部についても、実施設計において、照明灯の位置と共に、街路樹の設置などを調整する必要がある。

状況を示す写真や資料等

北伸部アーケード撤去後(竹の花交差点より北を望む)

北伸部アーケード撤去後(栄町三丁目交差点より南を望む)

評価軸③-9 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
銀座・竹の花周辺地区における街なみ環境の向上		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～平成32年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	旧甲州道沿いに位置する銀座・竹の花周辺地区において、地区街づくり基準に基づく景観修景への助成、案内板の設置等を行い、歴史文化やなりわいの感じられるまちなみ景観の形成を促進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・「本物志向の活力ある街づくり」がコンセプトである「地区まちづくり基準」に基づく「銀座・竹の花周辺地区街づくり協議会」の自主的な景観形成活動を支援するため、修景整備に係る経費の一部を助成している。 【定量的数値】街なみ環境整備事業補助金件数 平成23年度:4件、平成24年度:2件、平成25年度:4件、平成26年度:2件、平成27年度:2件、平成28年度:2件 計16件 ・修景事業を実施する際、協議会にてデザイン委員会を開催し、市景観アドバイザーを派遣のうえ協議をした。 ・整備する歩道(P.10参照)のデザインについて、市景観アドバイザーの助言、景観シミュレーションの実施、現場サンプル設置など、協議会を中心に検討した。あわせて、街並み景観に対する住民の意識高揚に繋がった。			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○地区内における修景事例 (街なみ環境整備事業補助金によるもの)			
 <p>リーマンズ(修景前)</p>	 <p>リーマンズ(修景後)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食店 ・屋根をルーバー意匠に変更 ・店舗前面に植栽、休憩スペースとなる木製デッキを設置 	
 <p>松崎屋(修景前)</p>	 <p>松崎屋(修景後)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家具店 ・電線類地中化事業によるアーケード撤去に伴い露出した外壁を、茶系色の家具店らしい和の雰囲気とし、本物志向の活力ある街に沿うものへ変更 ・奥にある家具作業場を道路側に配置することにより生業を演出 	
○銀座・竹ノ花周辺地区まちづくり協議会による歩道デザインの検討			
 <p>市景観アドバイザーによる勉強会の様子</p>	 <p>現場付近に設置した舗装材サンプル</p>	 <p>協議会におけるデザイン検討の様子</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・地区まちづくり協議会において、色彩をはじめ、並べ方、大きさ、など景観に配慮した歩道デザインの検討をした。 ・歩道について、あくまで通りの主役である歩行者、商店、店先の商品や街路樹などを引き立てるため、歩道面については、主張せず周囲になじむ汎用性の高いグレー系色の自然素材調のものが望ましいとなった。 ・並べ方について、参道など歴史的景観で用いられる並べ方(長方形を縦)を基本とし、出入り口など小さい正方形とすることで、耐久面や通行者への注意喚起による安全面などへ配慮するものとした。 			

評価軸③-10
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
祭礼等保存継承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～平成27年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 祭礼等の伝統文化の継承に必要な道具の更新を行い、歴史的風致を形成している活動の継続を図るとともに、それらの活動のPR等をする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・無形民俗文化財となっている民俗芸能団体が出演する地域の祭礼や学校の農業体験学習に参加している田植歌保存団体の活動などをPRすることで、市民等に対し地域の民俗芸能の大切さについて啓発を図ることができた。
- ・小田原ちょうちん夏まつりを実施し、市内の自治会神輿によるパレードを実施した。
- ・神奈川県にゆかりのある伝統文化を新しい発想で活用し、現代を生きる文化芸術として発信する「カナガワ リ・古典プロジェクト2016」(主催:かながわの伝統文化の継承と創造プロジェクト実行委員会)が小田原城址公園等で開かれ、地域の民俗芸能や新能などが演じられ、多くの観客を集めた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	事業期間が平成27年度までとなっているが、引き続き実施する必要があるため、平成28年度も実施しており、事業期間について平成32年度まで延長する。

状況を示す写真や資料等



「根府川寺山神社の鹿島踊り」
(平成28年7月17日)



「栢山田植歌」
(平成28年6月3日)
※報徳小水稻栽培体験学習に参加



「小田原ちょうちん夏まつり」
(平成28年7月30・31日)
※自治会みこしパレードは、7月31日に実施



「カナガワ リ・古典プロジェクト2016」
(平成28年9月19日)

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況
歴史的風致形成建造物等活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～平成32年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史的風致形成建造物に指定された建造物等を定期的に一般公開するため、事業運営する支援法人等に支援し、建造物の回遊、交流拠点としての機能を高める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

2回公開事業(見学会及び観覧会)を実施した。
 平成28年度 春の見学会 参加者数:50名、秋の観覧会 参加者数:1,213名
 ・民間所有の歴史的風致形成建造物である「岡田家住宅」について、所有者同意のもと、平成27年5月28日から居住区画の主屋を除く庭園及び茶室の一般公開(毎週木・金・土・日の週4日及び祝日)を実施した。一般公開のほか、市及び関連団体主催のイベント(茶会・講演会等)を招致した。(p.5参照)
 平成28年度 開館日:172日 入館者数:7,005人 催事数:8
 ・歴史的風致形成建造物候補である「内野家住宅」について、所有者協力のもと、地域住民団体主体の定期的な一般公開により一定の来館者数を得た。
 平成25年度 開館日:59日 入館者数:1,510人 催事数:16
 平成26年度 開館日:49日 入館者数:1,244人 催事数:10
 平成27年度 開館日:64日 入館者数:1,397人 催事数:14
 平成28年度 開館日:65日 入館者数:978人 催事数:11

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



文化財建造物春の見学会(老樺荘)
(平成28年5月20日～21日)

NPO法人おだわら名工舎(職人育成研修等推進事業、p.24参照)と協力し、建物とともに伝統工法を合わせて紹介。



文化財建造物秋の観覧会(古稀庵)
(平成28年11月6日)

文化財建造物 秋の観覧会

「歴史的風致形成建造物」の公開事業の一環として、市民の皆さまに身近な形で公開いたします。

公開日時 平成28年11月6日(日) 10時～15時

※ 各建築物は、公開期間中に限り公開いたします。

文化財建造物秋の観覧会チラシ



岡田家住宅(茶室)での茶会の様子

平成28年度小田原市文化創造活動型NPO育成事業

アートマネジメント・ワークショップ2016

小田原の歴史的建造物をアートで再生する

受講者募集

イベント開催地 旧松本剛吉別邸

協カアーティスト 朝比奈 賢

【開催】 平成28年9月6日(火)～平成29年2月21日(火)

岡田家住宅でのイベントチラシ(一例)

第4回内野邸鉄道模型展

小中学生も大人も集まれ・運転手も歓迎!

開催 平成28年7月30日(土)・31日(日)

会場 内野邸敷地(板橋田街道の松元記念館入口・板橋板橋駅徒歩5分)

開場 午前10時～12時 (見学無料)
午後2時～5時

幼児も小学生も運転できるNゲージの列車やHOゲージの写真の機関車など国内・国外のたくさんの列車が走ります。

主催 内野邸プロジェクト実行委員会 共催 平本亭 模型提供 吉田雅則ほか

内野家住宅でのイベントチラシ(一例)

評価軸③-12
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
地区まちづくりのための調査及び住民とのワークショップ		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～平成28年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史的風致が色濃く残る板橋地区やかまぼこ通り地区において、歴史的環境にあった街なみ形成や景観に配慮したまちづくりの推進に向け、景観調査、住民とのワークショップによるルールづくり、協議会への組織化等の支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・板橋地区では、地区内において、土蔵造り風の町屋で和洋折衷の特徴ある意匠の元醤油製造業である内野家住宅(歴史的風致形成建造物指定候補)の一般公開(有料)や各種イベントの開催等、引き続き市や地域住民組織による活用等を実施した。 ・かまぼこ通り地区では、地元組織である「かまぼこ通り活性化協議会」において、平成28年10月に「小田原かまぼこ通り～まちづくり構想～」が策定され、景観整備も含めた今後のまちづくりへの提案がなされた。小田原市では、景観街づくりアドバイザーを派遣する等、協議会の活動を支援した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	まちづくり構想が策定されたかまぼこ通り地区において、今後まちづくり構想を精査し、具現化に向けた実施計画等の策定について、引き続き支援していく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
<p>○板橋地区</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>定期的な一般公開やイベント等が行われている内野家住宅 (P. 13参照)</p> </div> </div>			
<p>○かまぼこ通り地区</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%;">  <p>市景観アドバイザーによる勉強会</p> </div> <div style="width: 33%;">  <p>ワークショップ(通りの分析)</p> </div> <div style="width: 33%;">  <p>小田原かまぼこ通り ～まちづくり構想～ (平成28年10月策定)</p> </div> </div> <div style="display: flex; margin-top: 20px;"> <div style="width: 50%;">  <p>小田原宿場祭り (旧かまぼこワッショイ) 平成28年10月1日開催</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>協議会にて設置された案内板</p> </div> </div>			

評価軸③-13
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度
	平成28年度 現在の状況
街かど博物館活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成23年度～平成32年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	小田原に古くから栄えた地場産業を営む店舗等を一般公開する「街かど博物館」において、訪れる人々に街の歴史や魅力を知ってもらう体験プログラムなど運営を支援することにより、伝統文化の伝承への意識が高まる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・街かど博物館認定数 20館
- ・街かど博物館体験ツアー 平成28年度 4回開催 参加人数 72人
- ・街かど博物館館長連絡協議会 平成28年度 2回開催
- ・街かど博物館ファンクラブ会員数 511人(平成29年3月末現在)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○街かど博物館体験ツアー

- 第1回 平成28年10月2日(月)「伝統の技に五感で触れる街かど博物館めぐり」
- 第2回 平成28年11月7日(月)「かまぼこ作り体験とブラタモリで紹介された小田原用水ツアー」
- 第3回 平成28年12月19日(月)「東海道五十三次小田原宿と街かど博物館めぐり」
- 第4回 平成29年 3月30日(木)「春爛漫小田原城お花見と街かど博物館めぐり」



ひものさばき体験(ひもの体験館)
＜カネタ前田商店＞



施設見学(倭紙茶舗)
＜江嶋＞



和菓子作り体験
(菓子どころ小田原工芸菓子館)
＜栄町松坂屋＞

○街かど博物館館長連絡協議会 (場所:小田原宿なりわい交流館)

- 第1回(通算第50回) 平成28年6月1日(水)開催
 - ・平成27年度 収支決算、事業報告について
 - ・平成28年度 収支予算、事業計画について
 - ・その他
- 第2回(通算第51回) 平成28年12月1日(木)開催
 - ・街かど博物館ガイドマップの改訂について
 - ・木象嵌パズルラリーについて
 - ・平成28年度街かど博物館体験ツアーについて
 - ・各種PR活動について
 - ・その他



館長連絡協議会

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
なりわい交流館活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～平成32年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 なりわい交流館において、小田原の地場産業の情報発信や生涯学習等の各種イベントの会場として、市民や観光客が交流する場を提供することにより、本市の歴史と伝統への認識が高まる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

開館より15年が経つが、利用者数は安定した数値で推移しており、旧東海道小田原宿の拠点施設として、市民・観光客の中で定着した施設となっている。

市民・観光客の中心市街地回遊のお休み処としての来館者数:平成28年度 38,701人

地場産業の情報発信の場として伝統工芸品展の開催:平成28年度 1回開催 来場者数 61名

生涯学習等の各種イベント会場機能としての利用回数:平成28年度 122回

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



施設外観

【小田原宿なりわい交流館機能】

観光案内や休憩のために立ち寄っていただき、建物自体の持つ古い旅籠の雰囲気や、展示物の生業(なりわい)に関する資料に触れて頂くことにより、歴史と伝統への認識を高めている。

<2階>
イベント
スペース



<1階>
観光案内
お休み処



イベントスペースでは一般団体の展示等も行われている
※写真右は木工業の若手による展示



【小田原の伝統工芸品展】

市内外の方に伝統工芸品の魅力を体感する機会を設けること、地場産業関係者には興味を持つ客層のリサーチの場として業界の振興を図ることを目的に伝統工芸品展を開催している。

開催日:平成28年7月30日(土)～31日(日)

「季節を感じる伝統工芸品」をテーマに、小田原ちようちん、小田原鋳物、小田原漆器を展示した。



評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
伝統的工芸品産業産地組合助成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～平成32年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 中世より続く小田原漆器などの伝統的工芸品を担う産地団体が行う振興事業へ助成し、担い手の育成や伝統技術の継承を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

小田原箱根伝統寄木協同組合が行う「伝統的工芸品産業の振興に関する法律」に基づいた振興事業に対し助成を行った。助成対象の事業には、従事者・後継者育成事業、販路開拓事業があり、担い手の育成や伝統技術の継承に寄与した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

組合による従事者・後継者育成事業
平成29年1～2月実施



ろくろ実技研修の様子

組合による販路開拓事業
平成28年11月11日～13日
小田原・箱根「木・技・匠」の祭典
会場：ラスカ小田原・HaRuNe小田原



作り手に出会う木工市

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
小田原散策マップ等作成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～平成32年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史的な街なみ・施設等の案内、史実等のストーリー・回遊ルート等の紹介のための散策マップを作成し、点在する歴史的資源等の回遊を促進することで、市民や来街者が歴史的風致に触れる機会が増え、関心が高まる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

おだわら散策マップ(東部版)を増刷した。
(A3判、両面印刷、4色カラー、20,000部)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

毎年、ウォーキングコースに設置した道標や案内板など(p.8参照)の設置状況を現地確認したうえで、散策マップを作成(更新)している。

状況を示す写真や資料等

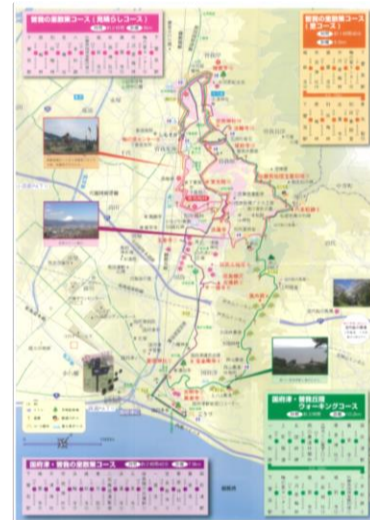
○おだわら散策マップ(東部版)



表紙



A3 表



A3 裏

○おだわら散策マップ全体のエリア



西部版

中央版

東部版

評価軸③-17 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
レンタサイクル事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～平成32年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	レンタサイクルの拠点を増やすことにより、旧城下やその周辺に点在する歴史的資源をより容易に巡ることが可能になり、市民や来街者が歴史的風致に触れる機会が増え、関心が高まる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・平成27年12月に小田原駅東口駐車場内にレンタサイクルの拠点を増設した。 ・平成26年度に貸出実績2,000台、平成27年度に2,500台を突破し、平成28年度については、 <u>昨年度比約61%増</u> の利用があり、順調に事業を実施できている。 【貸出実績】 平成24年度：1,786台(城のみ) 平成25年度：1,768台(城のみ) 平成26年度：2,091台(城のみ) 平成27年度：2,554台(城：1,864台、駅：690台) ※駅は、平成27年12月より開始。 平成28年度：4,113台(城：1,109台、駅：2,930台、梅まつり期間臨時貸出所：74台)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	利用の頻度の高いシーズンとそうでないシーズンがはっきりしている。 また、天候の影響も大きい。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・小田原城歴史見聞館貸出所 保有台数：普通自転車20台 利用料金：1回300円 ・小田原駅東口駐車場貸出所 保有台数：普通自転車19台 電動アシスト付自転車4台 利用料金：普通自転車1回300円 電動アシスト付自転車1回4時間まで500円 1日1,000円 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>レンタサイクル</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  <p style="text-align: center;">パンフレット</p> </div> </div>			

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
民俗芸能保存支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～平成32年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史的風致を構成する民俗芸能は、中心市街地の若年層の減少により、次世代の担い手不足が懸念されているため、保存活動団体に対し、普及啓発や保存の取り組みを支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・小田原民俗芸能保存協会は、市内に残る民俗芸能団体により構成され、民俗芸能の保護・育成に努め、例年、秋には協会構成団体が一堂に会し、日頃の練習成果を発表する後継者育成発表会を開催し後継者の育成を図っている。
- ・平成28年度は11月13日(日)に小田原市民会館で開催し盛況のうちに終了した。
平成28年度来場者数 415名
- ・昨年に引き続き、「栢山田植歌」では地元2校の小学校(児童15名)との合唱を実現した。
- ・市内外のイベントにおける民俗芸能の披露や民俗芸能講座などを通じた後継者の発掘等についての協力も、各民俗芸能団体と相談しながら行っており、平成28年度は10月31日開催の「日独エネルギー市民フォーラム」の歓迎レセプションへの出演について、主催者と芸能団体との間で調整を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

団体間のより一層の相互交流の場とするとともに、市民や次世代を担う子どもたちにも民俗芸能の普及を図ることができた。

状況を示す写真や資料等



開会式



山王原大漁木遣唄



小田原祭囃子連絡協議会



小田原ちようちん踊り保存



曾我別所寿獅子舞保存会



小田原囃子多古保存会



根府川寺山神社鹿島踊保存



栢山田植歌保存会



相模人形芝居下中座

平成28年度 小田原民俗芸能保存協会 後継者育成発表会

11月13日(日) 12:00開場 12:30開演 16:00終了予定

小田原市民会館大ホール

入場無料

主催：小田原民俗芸能保存協会、後援：神奈川県教育委員会、小田原市教育委員会、小田原市観光協会、小田原市ふるさと文化基金助成事業

後継者育成発表会チラシ



日独エネルギー市民フォーラム

項目		評価対象年度	平成28年度 現在の状況
無形民俗文化財記録作成事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成26年度～平成32年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	無形民俗文化財の実態を調査をし、現在における詳細な記録を作成する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市内の多くの地域で行われている道祖神祭りのうち、特に特色ある地域について、実際の披露を取材し資料収集等を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



東町の道祖神祭り



根府川の福踊り



東町の道祖神祭り



根府川の福踊り

評価軸③-20 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
文化財の総合的把握・育成支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成27年度～平成32年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史的価値の高い文化財を総合的に把握する仕組みを構築する。それらの活用を図り、携わる団体、個人を育成する取組みを支援する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市内文化財の総合的把握を進める作業の一環として、市の指定には至らないものの地域で大切に守り伝えられてきた年中行事や史跡などの文化財を検証していく仕組みづくりについて、地域自治会等との意見交換を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		地域で連綿と受け継がれてきたものに焦点を当て、顕在化を図るとともに、市民全体の意識を向上させ、活動等を側面から支援できる制度づくりについて、地域自治会等と協議しながら検討していく。	
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>昭和女子大学光葉博物館 秋の特別展 「相模人形芝居の世界」展示図録 (H28.10.22～11.26)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>根府川寺山神社の祭礼</p> </div> </div>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>「身近にある小田原の史跡」川西版(H20.3.28) 同川東版(H21.3.31)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>小田原市教育委員会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>早川お囃子会</p> </div> </div>			

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	

伝統行事・伝統文化啓発事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成26年度～平成32年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 伝統文化に関わる普及啓発のためのイベントの開催やパンフレットなどの製作を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・小田原市民文化祭における伝統文化発表会等の開催(吟剣詩舞道大会、いけばな諸流展など)
- ・伝統文化のワークショップの開催(日本舞踊ワークショップ 8/16 9人 人形浄瑠璃ワークショップ 12/20 100人)
- ・小学校での伝統文化のアウトリーチ事業(和太鼓2校 10/26,11/14 868人 落語1校 11/8 180人)
- ・小田原市民会館での松竹大歌舞伎公演(7/5 872人)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○和太鼓アウトリーチ



○落語アウトリーチ



○松竹大歌舞伎公演



○日本舞踊ワークショップ



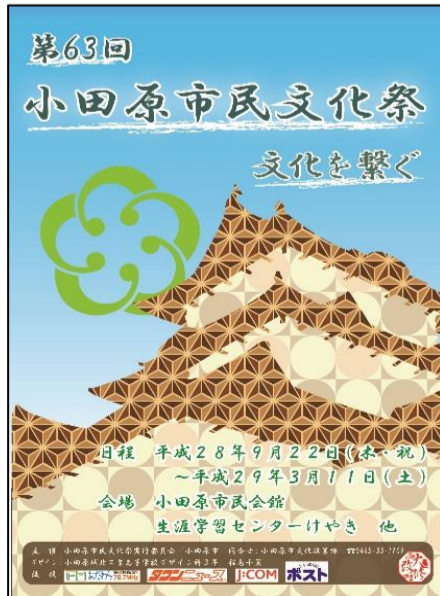
○人形浄瑠璃ワークショップ



○小田原市民文化祭(いけばな諸流展)



○小田原市民文化祭チラシ



評価軸③-22 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
職人育成研修等推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成28年度～平成32年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	法人等と連携し、歴史的建造物の調査・実態把握と職人育成研修(調査・整備・改修等を兼ねた実践型研修)を進め、歴史的建造物の改修等と併せて伝統工法に通じた職人の育成を図る。 また、歴史的建造物の改修・整備、活用等を促進するための相談対応、利活用コーディネート等を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・職人育成団体であるNPO法人おだわら名工舎と連携し、職人育成研修事業等を実施した。 ・平成28年度は、歴史的風致形成建造物である岡田家住宅の茶室(6名参加)、日本庭園(6名参加)、旧岸田邸棟門板塀(25名参加)を教材とした研修、茶室の曳き屋(31名参加)に関する研修を実施した。 ・あわせて研修教材、職人の研修需要の把握等のための相談窓口を設置した。 【定量的評価】 平成28年度 職人育成研修の実施件数 4件(各研修の参加者数の合計 68人) 職人研修相談の受付数(調査・修理相談等) 7件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	職人の技術向上に関する事業効果を把握するため、研修形態に即した効果測定方法を検証する必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
○岡田家住宅の茶室を教材とした職人育成研修 受講者:小田原大工職組合員(6名)、指導:小田原大工職組合長 ほか			
			
岡田家住宅の茶室(雨香亭)		床下の通気口の補修	
○西海子小路入り口に位置する旧岸田邸棟門板塀を教材とした職人育成研修 受講者:神奈川県立小田原城北工業高等学校建設課在校生(25名)、指導:小田原大工職組合長 ほか			
			
修復前		部材の加工作業	
			
現地にて修復作業		修復後	

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
文化財の指定		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 重点区域内には、国指定史跡である史跡小田原城跡をはじめとする多くの指定文化財が存在している。本市の歴史的風致の維持向上のために、重点区域に集中的に存在する文化財の保存・活用を図ることが必要であり、関連法令に基づく保護措置を図るとともに、計画的な修理や整備を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「百姓曲輪」と「小峰御鐘ノ台大堀切東堀」について、史跡小田原城跡へ追加指定するため、平成28年度に、関係地権者、国、県等との協議のうえ、意見具申書を国に提出した。文化審議会からの答申を受け、平成28年10月3日付官報告示にて、第11次指定として史跡小田原城跡に追加指定された。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

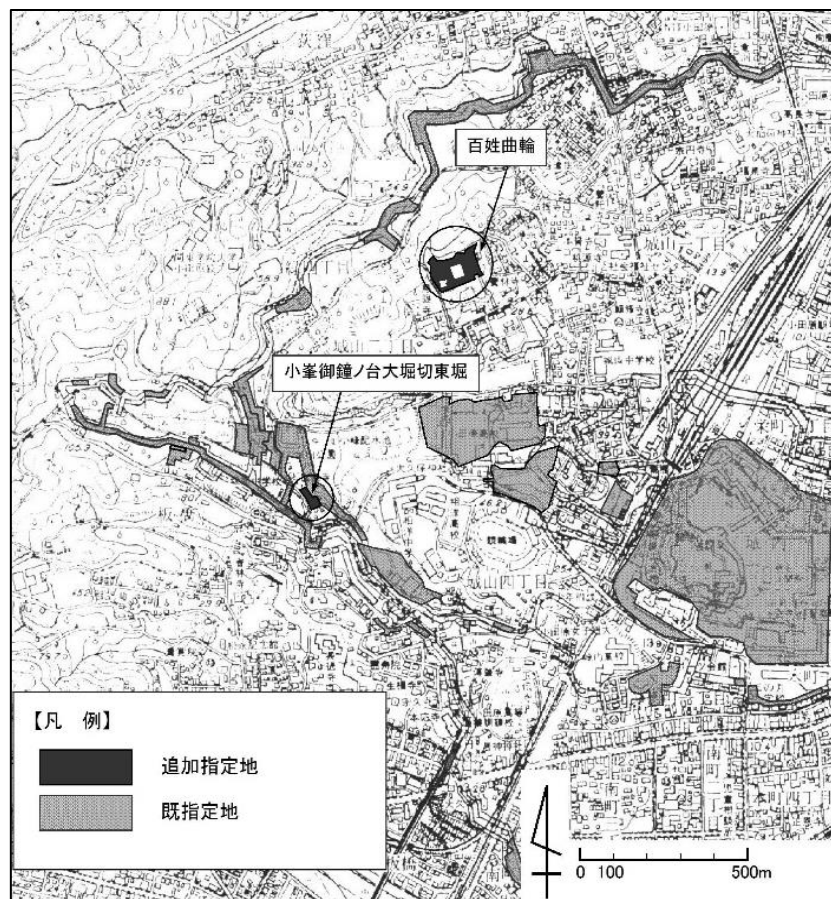
状況を示す写真や資料等



史跡小田原城跡に追加指定された「百姓曲輪」



史跡小田原城跡に追加指定された「小峰御鐘ノ台大堀切東堀」



追加指定地の位置図

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
文化財の修理(整備を含む)及び防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 文化財の修理及び整備にあたっては、文化財の価値を損なうことなく適切な保存を図る必要があるため、詳細な調査を行い、履歴に基づいた修理及び整備を実施する。
 日常から文化財の防災に対する意識を向上させるため、所有者・管理者・地域住民・消防が一体となった防災訓練を定期的実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・史跡小田原城跡御用米曲輪において、修景整備工事を進めた。(P. 6参照)
- ・宿場町おだわら顕彰事業として、かつての本陣を示す石柱や案内板を製作した。
- ・平成29年1月26日「文化財防火デー」前後で、市内の文化財に係る避難誘導・消火活動などの消防訓練、消防による設備点検や防火指導を実施するとともに、広報誌等で文化財防火についての啓発を呼びかけた。
- ・平成28年度は、平成29年1月20日小田原城天守閣の消防訓練を実施した。
- ・あわせて同日及び23日に7か所の文化財所有者を消防・文化財課職員が訪問し、設備点検・防火指導を実施した。
- ・消防訓練や防火指導、啓発記事の掲載などにより、文化財所有者・管理者・市民に対し、文化財愛護に関する意識の普及・文化財防火・防災意識の高揚が図られた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

<文化財の修理(整備を含む)>



御用米曲輪

<<宿場町おだわら顕彰事業>>



本陣を示す案内板



本陣を示す石柱



<文化財の防災>



消防訓練
(平成29年1月20日 小田原城天守閣)



設備点検・防火指導
(平成29年1月20、23日)

評価軸④-3
文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度
文化財の保存・活用の普及及び啓発		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 文化財を積極的に公開することにより、誰もが気軽に歴史的風致に触れることができる環境づくりを推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・「文化財公開事業」として、埋蔵文化財の出土品展や遺跡調査発表会、遺跡見学会、また、文化財建造物や寺社に保存されている指定文化財の公開等の事業(p.13参照)を開催した。
- ・平成27年度史跡江戸城石垣石丁場跡が新たに指定されたことに伴い、同時に指定された静岡県、熱海市、伊東市と連携シンポジウム、遺跡見学会を開催した。
- ・次世代を担う子どもたちにも興味・関心を持ってもらうため、文化財公開事業について、校長会で取り上げてもらうとともに、併せてチラシ等の配布も行い、小中学校への情報提供と子どもたちへの学習機会を提供した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○史跡江戸城石垣石丁場跡 シンポジウム・遺跡見学会



シンポジウムも遺跡見学会
早川石丁場群岡白沢支群

史跡 江戸城石垣石丁場跡の実像に迫る

～国指定を記念して～

記念講演
「中・近世の石材加工と石丁場遺跡」
村木 二郎氏(国立歴史民俗博物館客員)

遺跡見学会
早川石丁場群岡白沢支群

シンポジウム
日時 11月5日(土) 10:00～16:35(開場9:30)
場所 小田原市立かもめ図書館2階「視聴覚ホール」
定員 120名(事前申し込み 先着順 入場無料)

遺跡見学会
日時 11月6日(日) 8:45～12:20(小雨決行)
集合場所 神奈川県立生命の星・地球博物館正面玄関前広場
解散場所 史跡石垣山(石垣山一夜城) 先着順 参加無料
定員 120名(事前申し込み 先着順 参加無料)
問い合わせ先 小田原市文化財課 TEL. 0465-33-1715

主催：小田原市教育委員会
後援：神奈川県教育委員会 静岡県教育委員会 熱海市教育委員会 伊東市教育委員会



シンポジウム
(平成28年11月5日)
参加者数85名



遺跡見学会
(平成28年11月6日)
参加者数75名



○最新出土品展
(平成28年11月26日
～12月11日)
来場者数820名

小田原市
最新出土品展
2016

平成28年
11月26日(土)
↓
12月11日(日)

※11月28日(月)は休館日です。

時間 9:00-17:00 料金 無料
会場 小田原市立かもめ図書館
2階 集会室 (小田原市東部1-5-30
近隣駅 徒歩約10分
公共交通機関でご来場ください)

開催 平成27年度市内で
実施した発掘調査

企画 報告書刊行記念
なかとと
発掘された中里遺跡
東日本で最古の本格的な
縄文集落が見つかった。
弥生時代の中里遺跡出土
資料を展示します。

開催行先
平成28年12月11日(日)
小田原市遺跡調査発表会
(会場：小田原市立かもめ図書館視聴覚ホール)

問い合わせ：小田原市文化財課



○遺跡調査発表会
(平成28年12月11日)
来場者数151名

最新出土品展チラシ
(小中学校へも配布)

評価軸⑤-1 効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
小田原文学館 観覧者20万人達成	平成28年4月20日	朝日新聞、毎日新聞、神奈川新聞、神静民報
小田原城天守閣新装 初日の入場料 熊本市へ寄付	平成28年4月21日 ほか	神奈川新聞 ほか多数
北条家の治世 多彩に紹介 新装・小田原城 1日公開	平成28年4月29日 ほか	朝日新聞 ほか多数
小田原城史跡 2地点追加 国文化審答申 大堀切の遺構など	平成28年6月18日	朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、東京新聞、神奈川新聞ほか
(特集)訪ねる 9月城めぐり 小田原城 時を経て復元 市民の力で	平成28年9月15日	朝日新聞(夕刊)
小田原城北工業高校生が伝統工法で塀を改修	平成28年12月16日	まちの情報誌ポスト
小田原城入場者数 53年ぶり新記録	平成29年1月7日 ほか	朝日新聞ほか

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・景観計画の活用(p.2)、小田原文学館整備活用事業(p.9)、職人育成研修等推進事業(p.24)、文化財の指定(p.24)、小田原城天守閣耐震改修工事(p.29)に関することについて報道された。

・特に、小田原城天守閣リニューアルオープンについて、初日入場料の熊本市への寄付報道とともに、TVや新聞をはじめ多くのメディアにて取り上げられ、予想を上回る入場者数を得ることが出来た。

・また、TVの人気番組『プラタモリ』書籍版が平成28年12月に発刊され、歴史的風致と関連の深い小田原城総構や小田原用水、小田原かまぼこ通りなどを紹介した「小田原編」も収録され、市内書店にて積極的に取り上げられることで、さらなる周知がなされた。

【小田原市が、各種メディア(映画・テレビ・CMなど)に取り上げられた件数】※()内は依頼・相談のあった件数
 H23:100件(233件)、H24:74件(155件)、H25:70件(144件)、H26:85件(168件)、
 H27:101件(179件)、H28:94件(171件)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

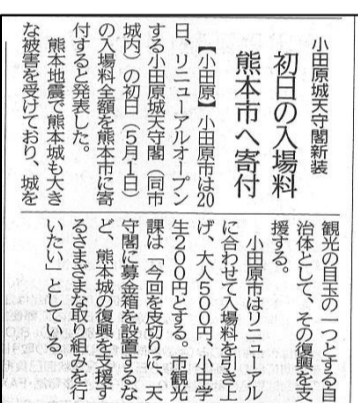


小田原城史跡 2地点追加 大堀切の遺構など

国文化審答申

大堀切の遺構など

○平成28年6月18日付 朝日新聞



小田原城天守閣新装 初日の入場料 熊本市へ寄付

熊本市へ寄付

○平成28年4月21日付 神奈川新聞



北条家の治世 多彩に紹介

新装・小田原城 1日公開

○平成28年4月29日付 朝日新聞



小田原文学館 観覧者20万人達成

祝 小田原文学館 観覧者20万人達成



小田原城北工業高校生が 伝統工法で塀を改修

伝統工法で塀を改修

○平成28年12月16日付 ポスト



小田原城入場者 53年ぶり新記録

歴史ブーム、展示一新で急増

○平成29年1月7日付 朝日新聞

○平成28年4月20日付 神奈川新聞

	評価対象年度	平成28年度
--	--------	--------

項目

小田原城天守閣耐震改修工事

計画に記載している内容

市民や観光客の歴史的風致に対する理解と関心を高めるための市民の活動等を推進・支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

天守閣は、1960年に再建されてから50年以上経過していることから来館者の安全確保のため耐震改修を行なうとともに、空調設備の整備や展示リニューアルなどを行った。

- ・耐震改修等工事に伴う天守閣の休館(平成27年7月から平成28年4月下旬)
- ・天守閣休館期間中(平成28年4月まで)の既存施設を活用した誘客対策の実施
 - 銅門特別公開(7/1~土日祝日)、常盤木門にて戦国武将展(7/18~9/23、入場者数25,313人)
 - 常盤木門内にて北条五代と武具甲冑展(10/17~3/31)、忍者・武者・梅丸のお出迎え(10/10~3/31)
 - 手裏剣投げ体験(10/10~3/31)、工事フェンスへ古写真展示、
 - 摩利支天像空間再現に関する見学会・木育ワークショップ等の開催
- ・平成28年5月1日に天守閣はリニューアルオープンし、過去最高の入場者数を更新
 - 【小田原城天守閣入場者数】平成28年度 775,406人

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

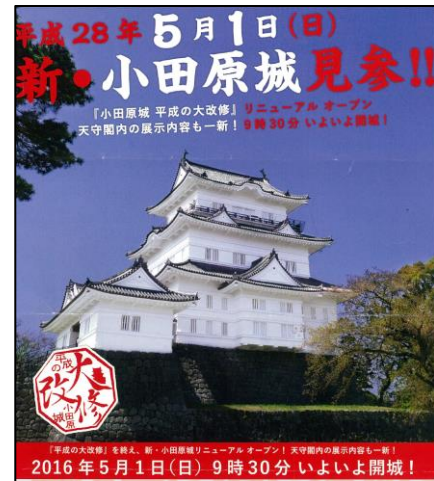
状況を示す写真や資料等



天守閣外観(耐震改修工事前)



天守閣外観(耐震改修工事後)



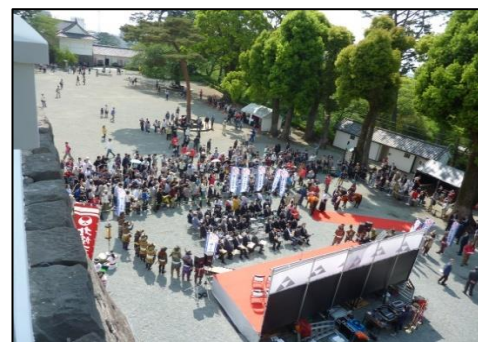
リニューアルオープン チラシ



天守閣一般向け内覧会の様子



天守閣リニューアルオープン記念式典



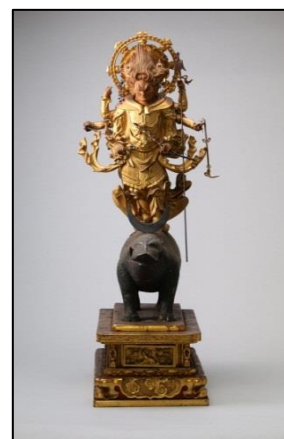
天守閣リニューアルオープン当日の様子



天守閣館内展示風景(1階)



天守閣館内展示風景(5階)



摩利支天像

評価軸⑥-2
その他(効果等)

評価対象年度 | 平成28年度

項目

観光まちあるき事業(まち歩きアプリの開発等)

計画に記載
している内容

市民や観光客の歴史的風致に対する理解と関心を高めるための市民の活動等を推進・支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

- ・近年、モバイル端末の急速な普及により、各地でモバイル端末を活用したPR方法が展開されており、本市においても、観光客の回遊性や利便性の向上を図るために、観光用まち歩きアプリの開発を実施した。
- ・アプリ仕様(内容)については、小田原城やその周辺、重点区域内などにおいて、「観光スポット情報」や「モデルコース」を提供し、さらにAR技術を用いて現存していない早川地区に位置する石垣山一夜城などを3DCGで再現する仮想空間体験などを搭載し、公開した。

【平成28年度実施スケジュール】

平成28年4月～6月上旬	事業者選定(プロポーザル方式で選定)
平成28年6月下旬	契約
平成28年7月～平成29年1月下旬	アプリ仕様(内容)の開発(民間団体を含む検討会議を3～4回実施)
平成29年4月	公開

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

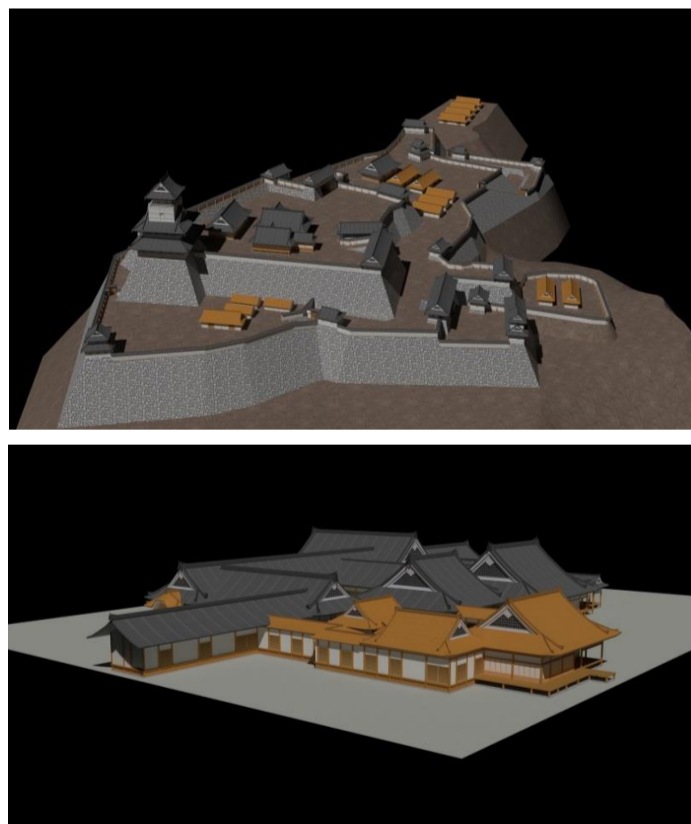
- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

観光客にとって使いやすく、かつ、魅力的な内容とするとともに、多くの人にダウンロードしてもらうための効果的な周知方法を検討する。

状況を示す写真や資料等



まち歩きアプリのトップ画面
(イメージ)



3DCGのイメージ

評価軸⑥-3
その他(効果等)

評価対象年度 平成28年度

項目

きづかいのまちの取組み(小田原産木材の活用など)

計画に記載している内容 記載なし

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

- ・「木づかいのまち」をコンセプトに小田原の地域産木材利用の拡大を試みているが、そのうち重要な施策である木育事業については、H28年2月9日に東京おもちゃ美術館と「ウッドスタート宣言」を締結し、これに伴い、4月から誕生祝い品の配布を開始した。(H28 誕生祝い品の配布数:409セット)
- ・わたしの木づかいパイロット事業として、市内小学校2校の一部で、児童の学習机の天板を地域産ヒノキに付替えた。(H28 小学校の天板の導入数:94名分)
- ・JR東日本が首都圏初となるリゾート列車「IZU CRAILE」を運行することとなり、小田原駅構内へ専用待合室の設置に伴い、製材業、木工業、や大工職などの職人と連携し、施設内木質化や備品什器類の整備を支援した。
- ・H28 小田原産木材住宅リフォーム等助成事業(床材等):4件
- ・小田原市いこいの森へ、小田原木材によるバンガロー既存5棟に加え、3棟を新たに建築した。
- ・引き続き公共建築物における木材の利用促進に努めた。
(「小田原市公共建築物における木材の利用の促進に関する方針」有)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



誕生祝い品
(ひのきかたかたとかまぼこくるま)



IZU CRAILE 待合室



わたしの木づかいパイロット事業
(ヒノキ天板の学習机)



いこいの森バンガロー
(新たに建築した3棟)

評価軸⑥-4
その他(効果等)

評価対象年度 平成28年度

項目

歴史的風致に関する意識啓発

行政内部において関係部局が協調して取り組むこととし、都市整備・景観・文化財・観光等の分野が横断的かつ効果的な取り組みを行う。
事業実施においては、事業担当課が関係団体や個人と連携し、国や県など協議しながら実施するものとする。
市民や観光客の歴史的風致に対する理解と関心を高めるための市民の活動等を推進・支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

- 歴史的風致に関する意識啓発のため、新任及び新採用職員向けの研修を実施
 - ・市新採用職員研修プログラムの中の「体験学習」の一つとして実施。
 - ・新任(推進会議スタッフ含)5名及び新採用職員25名受講。
 - ・実地研修では、市担当者及び実際に活動しているNPO法人に現場案内の協力を依頼。
 - ・受講者には、市外出身者(約半数)が多く、今後の市全体としての効果的な取り組みに向けての意識啓発が出来た。
- 市内中学校へへの出前講座を実施
 - ・「市生涯学習きらめき出前講座・体験学習プログラム」を活用し、市内私立中学校へ出前講義を実施。
 - ・私立中学生1年生(45名)を対象、「小田原城・石垣山」及び「小田原市の歴史まちづくり」を地域学習のテーマとし、スライド等を用いて講義。
 - ・中学校の教育課程において、小田原市の地域資源や「歴史的風致」の考え方を、分かりやすく伝えることが出来た。
- 市内高校生による「まち歩きガイド体験」を実施(p.3参照)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

○歴史まちづくり研修(平成28年6月30日実施 新任及び新採用職員を対象 30名受講) カリキュラム

項目	期日	集合場所	集合時間	10:30	11:30	12:30	14:00	15:00	16:00	17:15
(まち歩き体験学習)	平成28年6月30日(木)	小田原城馬出門	8:30	小田原城址見学	概要 歴史まちづくりの【UMECO】	昼休み	小田原駅西口集合	小田原まち歩き観光コース体験		都市セールス・振返り【清閑亭】

- ・歴史まちづくりの概要の講義、コア資産である史跡小田原城跡見学(小田原城天守閣含む)、小田原まち歩き観光コース体験を通じた実地研修を1日のスケジュールで実施した。
- ・小田原まち歩き観光コース体験は、通常のまち歩き観光2コース(なりわい、邸園)の短縮版として一行程とし、同一行程を2グループに分けて実施。イヤホンによるNPO法人小田原まちづくり応援団による案内。
- ・まとめとして、歴史的風致形成建造物である清閑亭にて、都市セールス(広報)の視点も加えた振返りワークショップを実施し、知識の定着を促した。



NPO法人小田原まちづくり応援団による案内



清閑亭における振返りワークショップの様子

○生涯学習きらめき出前講座・体験学習(平成28年10月26,27日実施 市内中学生 45名受講)



学習テーマ『「小田原城・石垣山」市文化財課職員による講義の様子



学習テーマ『「小田原市の歴史まちづくり」市都市計画課職員による講義の様子

評価軸⑥-5
その他(効果等)

評価対象年度 平成28年度

項目

歴史まちづくりの効果

計画に記載している内容
重点区域内において、歴史的風致の維持及び向上に寄与する施策を重点的かつ一体的に推進し、歴史的建造物や伝統文化などの保存・活用、歴史的景観等に配慮した市街地の環境整備などを図ることで、市民や観光客の歴史的風致への認識や愛着が深まるだけでなく、歴史的建造物や伝統文化の継承や人々の交流人口の拡大や観光振興などの多方面にわたる効果が期待される。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

- 歴史的風致形成建造物への指定数
 - ・指定・登録文化財や未指定の建造物を歴史的風致形成建造物へ指定することで、保存・活用が図られている。
H23 4件(松永記念館、清閑亭、小田原文学館本館、同別館)
H27 2件(岡田家住宅、皆春荘)
H28 2件(無住庵(松永記念館への追加)、内野家住宅)
計 8件(うち既指定への追加1件含)
- 入込観光客数及び各施設入館者数の増加 ※詳細は下記を参照。
 - ・史跡小田原城跡のシンボルである小田原城天守閣や歴史的風致形成建造物である松永記念館、清閑亭、小田原文学館3館合計の入館者数が増加している。
 - ・市有だけでなく民有の歴史的風致形成建造物(岡田家住宅・内野家住宅)について、所有者の協力による定期的な一般公開により一定の来館者数を得ている。(詳細は、P.13参照)
- 重点区域内における修景整備件数の増加
 - ・これまで実施されなかった重点区域内における建築物等の修景整備が着実に実施されている。
H23:6件、H24:2件、H25:6件、H27:2件、H28:2件 計18件(件数は施設数ごと。複数年整備は初年度にカウント。)
- 庁内部局間、県内自治体間、認定都市間での連携強化
 - ・歴史的風致建造物3館連携イベントの実施 ・各事業関連のまち歩き観光の実施
 - ・自主的な用水路整備 ・県(邸園文化圏構想、邸園文化祭)による広域連携の実施
 - ・関東圏歴史まちづくりサミットへの参加 など
- 歴史的風致に関する啓発事業の実施(独自の取組)
 - ・歴史まちづくり研修の実施(担当職員及び新採用職員向け、講義と実地まち歩きによる研修) ・庁内通信の発行
 - ・一覧表等作成による「見える化」 ・広報(特集や歴史的風致連載コラム)への掲載 ・ケーブルテレビへの出演 など

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

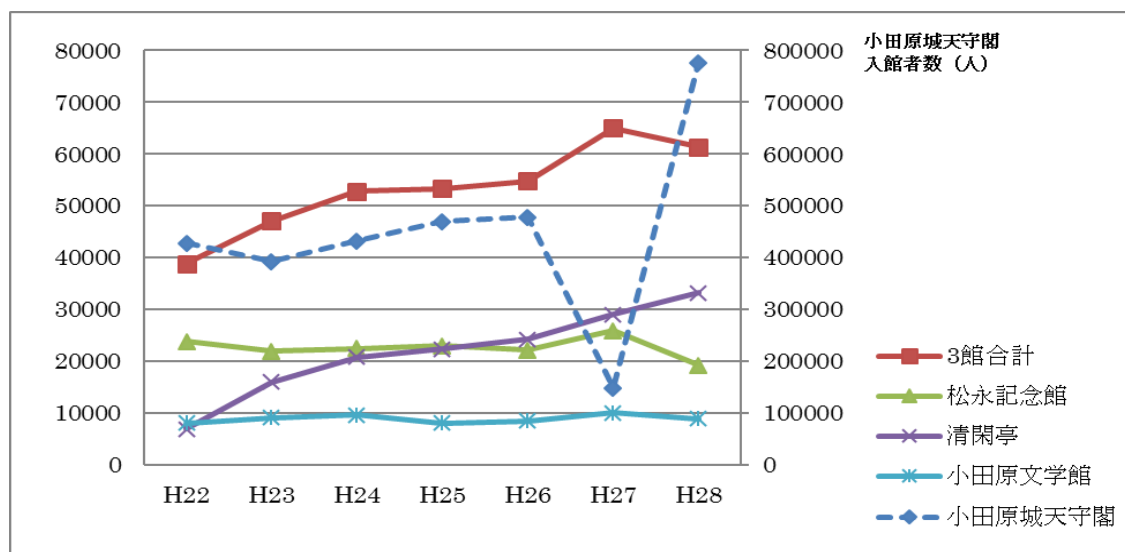
- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

○入込観光客数及び施設来館者数の増加

指標	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
入込観光客数(人)	5,040,000	4,246,000	4,370,000	4,650,000	4,514,000	4,538,000	-
小田原城天守閣入場者数(人)	427,119	392,146	431,798	469,183	502,330	148,325	775,406
松永記念館	23,829	21,901	22,388	22,905	22,086	25,918	19,246
清閑亭	6,884	15,969	20,777	22,324	24,190	29,007	33,201
小田原文学館(本館・別館)	8,046	9,121	9,578	8,068	8,501	10,012	8,834
3館合計(人)	38,759	46,991	52,743	53,297	54,777	64,937	61,281
旧内野醤油店(内野家住宅)	-	-	1,211	1,510	1,244	1,397	978
岡田家住宅	-	-	-	-	-	-	7,005

※小田原城天守閣入場者数は、耐震改修工事(p.29参照)により、H27(平成27年4月～6月)・H28(平成5月～12月)の開館期間中の集計。(平成27年7月から平成28年4月までは工事のため休館)



小田原城天守閣入場者数と歴史的風致形成建造物3館の入館者数

評価対象年度	平成28年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:平成28年度第2回小田原市歴史まちづくり協議会	
会議等の開催日時:平成29年2月7日(火)午後3時から (会場:小田原市役所6階601会議室)	
<p>(コメントの概要)</p> <p>■取り組み全般に対するコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小田原の歴史まちづくりは、メディアにも取り上げられ市民権を得てきた実感がある。 ・重点区域のコア資産である史跡のシンボルである小田原城のリニューアルに伴い、メディアに多く取り上げられる機会が増えており、歴史まちづくりの活動が実を結んでいる。 ・ハードとソフト両面において、市内で活動している民間団体によって繋げる方法と、様々な小田原の職人文化(かまぼこから伝統工芸、伝統工法など)と中世以来の城下町との結びつきを、さらに意図的に繋げていくとより効果的である。 <p>■各評価シートに対するコメント</p> <p>【進捗評価シート③-2 松永記念館整備活用事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的風致形成建造物へ指定した無住庵の松永記念館への移築は良い。 ・移築する場合、建築基準法に係る部分など慎重に検討して欲しい。 ・本来茅葺であれば、茅葺屋根に戻すことが望ましいと考える。 <p>【進捗評価シート③-4 史跡小田原城跡本丸・二の丸整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住吉橋については、ガイドするルート上にあり、老朽化について度々指摘を受けていたものである。 ・住吉橋保存修理工事については、現場見学会など難しいかもしれないが、製材風景や作業状況など、逐次HP等で公表し周知していくと良い。 <p>【進捗評価シート③-5 八幡山古郭・総構整備事業】</p> <p>【進捗評価シート④-1 文化財の指定】</p> <p>【進捗評価シート④-3 文化財の保存・活用の普及及び啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小田原城天守閣の入場者数とともに、新たに史跡指定された場所(総構など)への来訪者数など大まかでも把握出来るとう良い。 <p>【進捗評価シート③-9 銀座・竹の花周辺地区における街なみ環境の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修景件数とともに街なみ全体としての変化(カバー率など)を示していけると良い。 <p>【進捗評価シート③-11 歴史的風致形成建造物等活用事業】</p> <p>【進捗評価シート⑥-5 歴史まちづくりの効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小田原城天守閣の入場客数の増加に伴い、清閑亭の入館者数も増加しているが、その先に位置する小田原文学館の入場者数は増加していない。 ・小田原城に来た多くの人の小田原での滞在時間をいかに延ばすかが重要である。 ・清閑亭から小田原文学館、この中間にある岡田家住宅が公開され始めたことで、このルートを今後確立しながら、さらにかまぼこ通りまで足を延ばしてもらえると、滞在時間がかかなり長くなる。 ・回遊性向上に向けた課題について、まち歩き等実施している市民団体と市で協力を連携を取り進めていく必要がある。 <p>【進捗評価シート③-12 地区まちづくりのための調査及び住民とのワークショップ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かまぼこ通りには、歴史的風致形成建造物の指定候補物件があるので、地域の実施計画の進捗と合わせ、歴史的風致形成建造物の保存・活用について検討に加えると良い。 <p>【進捗評価シート③-17 レンタサイクル事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年の小田原城リニューアル以来、まち歩きをする人が増えており、小田原文学館を含め早川(一夜城など)まで自転車を利用する人が多い。 ・街かど博物館も含め、まち歩きや自転車の人たちをより大きな範囲に広げる機会を増やす必要がある。 <p>【進捗評価シート③-19 無形民俗文化財記録作成事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記録の作成だけでなく、記録したものの公開など、無形民俗文化財の活用方法など検討出来るとう良い。 <p>【進捗評価シート⑤-1 効果・影響等に関する報道】</p> <p>【進捗評価シート⑥-1 小田原城天守閣耐震改修工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初日入場料を震災のあった熊本へ寄付したことは良いアイデアであり、お城同士の連携を強く感じる。 ・全国のお城エキスポなど他イベントでも小田原城への関心が非常に大きい。 	
<p>(今後の対応方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かまぼこ通り地区などにおいて、歴史的風致形成建造物の保存・活用を踏まえた街なみ環境の整備などの検討を進める。 ・ハードとソフト両面において、小田原の職人文化と城下町の繋がりを意識しながら、より回遊性を高める取組みに繋げていく。 ・各事業を進めるうえで、より効果的なPR・周知方法を工夫していく。(無住庵の移築、職人育成研修、住吉橋保存修理工事など) 	